

要請番号 (JL52717B11)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ナミビア	D230 電気・電子機器		個別	新規	2年	・2018/1・2018/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

高等教育・訓練・イノベーション省

2) 配属機関名 (日本語)

ナミビア鉱業技術専門学校

3) 任地 (エロンゴ州アランディス) JICA事務所の所在地 (ウィントフック)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約4.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

高等教育省傘下の職業訓練校(国内に3か所)で1991年に開校した。ウランをはじめとする採掘業が盛んな当国において、鉱業や製造業・エンジニアリングの技術者を育成している。職業訓練校は地域の特色にあったコースで構成され、各校それぞれ4-6コースを有している。また、職業訓練だけでなく、英語、数学といった一般教養科目も提供される。
* コースは年2回(9月と3月)に始まり、それぞれ6か月の授業を終了後に、6か月の企業内インターンを行う。各学年6か月の授業(600時間程度)の内、学科300時間・実習300時間程度を行う。配属先WEBサイト:
<http://www.nimtnamibia.com/>

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ナミビア国内の鉱業のうち、ウラン採掘など大規模な現場ではオートメーションによる機械的な制御により管理がされている。そのため、電気・電子分野の中でも計装システムや自動制御に関する知識・技術力を有する技術者(設置や修理・メンテナンスを行う)が求められている。すでに教員2名が授業・実習を行っているが、Profibus(産業用イーサネット)などの知識や経験に乏しい。また、JICA研修(実践的電気・電子技術者育成)で日本へ行った同校の校長が、日本の計装・自動制御分野の技術を同校の計装コースに取り入れ、特に実習を充実させたいとの期待から本要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 訓練生に対し、電気工学の基礎知識から計装(Instrumentation)、リモート監視・制御システム(SCADA)等の実習指導を行う。
2. 指導内容にフィールドバスシステムを導入するための支援を行う。
3. 実習や理論の指導に必要な教材の見直しや改善を行う。
4. 日常業務を通じて、同僚講師の技術・知識向上に向けたアドバイスをを行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

Endress+Hauser社製の流量計、レベル・圧力送信機、導電率計、温度プローブ等。その他、各種電子部品

4) 配属先同僚及び活動対象者

カウンターパート: 2名
男性(30代 / 勤続年数5年/同校計装コース卒業)
計装コースの生徒数 1年23名、2年20名、3年12名(2016年)
生徒はグレード12の卒業生(日本の高校卒に当たる)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

英語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（専門学校卒）電気・電子 備考：専門的知識が求められるため

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：活動に実習での指導が含まれる

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（砂漠気候） 気温：（10～40℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】